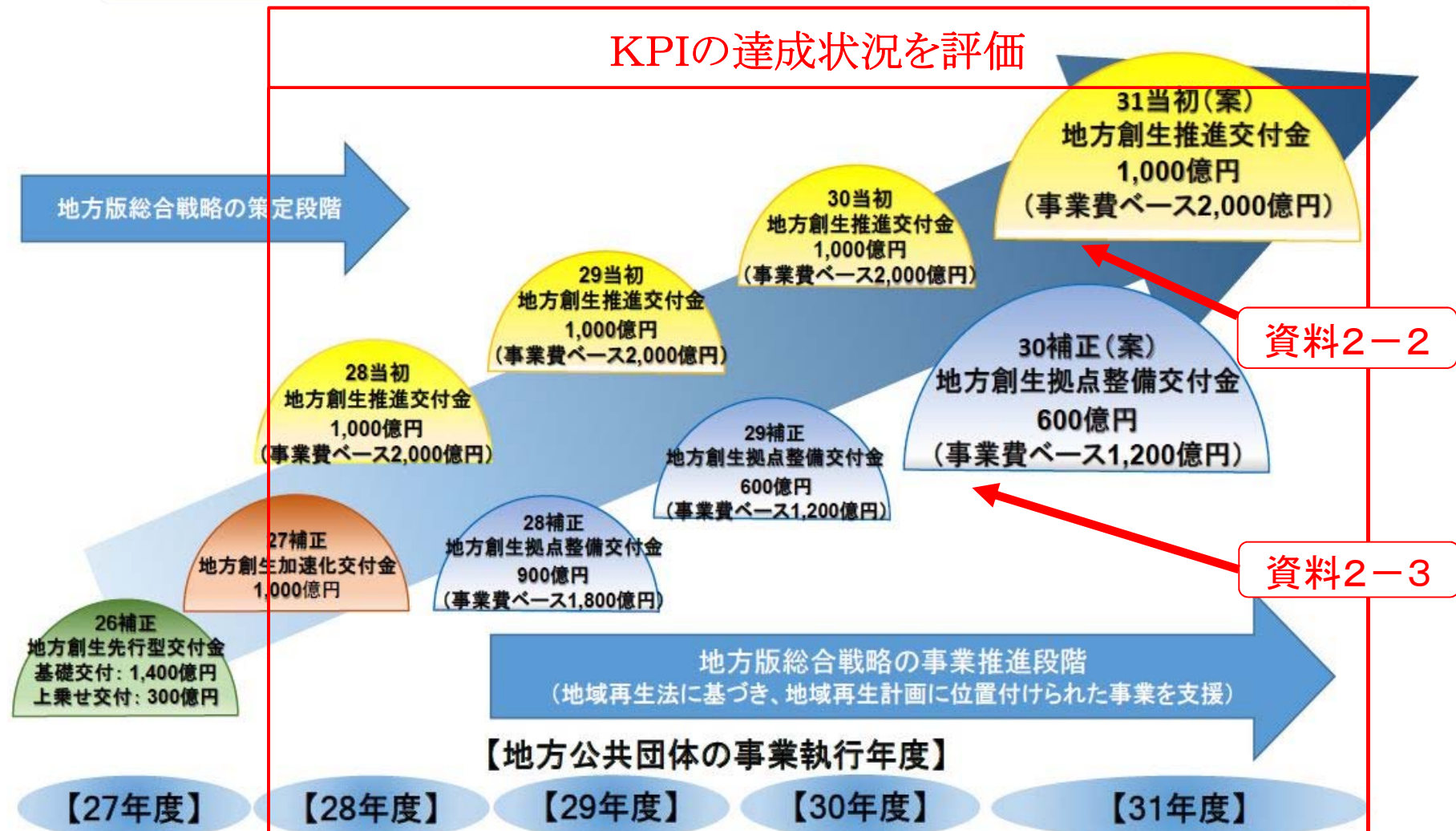


【内閣府】地方創生関係交付金の概要（イメージ）

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

No.	総合推進分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額(千円)				重要業績評価指標(KPI)													達成度合い			地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開											
						2016年度(H28年度)	2017年度(H29年度)	2018年度(H30年度)	2019年度(R元年度)	2016年度(H28年度)		2017年度(H29年度)		2018年度(H30年度)		2019年度(R元年度)		2020年度(R2年度)		2021年度(R3年度)		2022年度(R4年度)		2023年度(R5年度)				2024年度(R6年度)		増分の累計	事業開始から2019年度まで(事業開始からR元年度まで)(R2.3時点)	目標値(R元増分まで累計)に対する実績値(R元増分まで累計)の達成度合い	目標未達理由	左で「①」外的要因を選択した場合、その内容	左の具体的な内容			
						交付決定額	交付決定額	交付決定額(当初)	交付決定額(第2回まで)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			目標値	実績値									
1	①	やわらかBiz(IT×クリエイティブ×若者・女性)創出事業	やわらかBiz(IT×クリエイティブ×若者・女性)創出事業	H28 H32	デジタルコンテンツ産業の振興や新事業創出に取り組んできたことにより、佐賀市を中心にIT産業やクリエイティブ産業などの「やわらかBiz」の集積が進んでいる。本事業は、さらなる若年層の定着及び新事業創出に繋げるため、事業者間の「相互交流」の促進、資金調達多様化・経営支援に取り組む。(構成事業) ・さがラボ構想推進事業費(地方創生推進交付金)【産業企画課】 ・やわらかBiz創出事業費(地方創生推進交付金)【産業企画課】 ・デザイン思考普及推進事業費(地方創生推進交付金)【産業企画課】	5,681	20,339	30,995	36,091	KPI①	当事業によるIT・クリエイティブ産業における新規雇用創出数	人	0	0	2	5	17	53	0	+0	+2	+3	+12	+36	0	+0	+7	+0	+3							-	+53	+17
									KPI②	当事業による創出されたIT・クリエイティブ領域における新事業の売上高	千円	0	0	30,000	76,600	245,650	750,000	0	+0	+30,000	+46,600	+169,050	+504,350	0	+0	+0	+4,285	+56,184	-	+750,000	+245,650	④目標値の達成は5割未満	③その他	多くが事業構築中であり売上を計上できる状況にないため、現実の売上にはまだつなげていないが、大手との協業や各種アワード受賞、関東・関西への拠点開設等の例もできており、次年度以降は大きく成長する企業も複数ある。				
									KPI③	当事業で支援した資金調達案件のうち調達に成功した延べ件数	件	0	0	8	20	34	50	0	+0	+8	+12	+14	+16	0	+0	+3	+11	+17	-	+50	+34	②目標値の7割以上達成	③その他	対象案件が次年度の資金調達に持ち越しとなったため、十分な資金調達にはまだつなげていないが、大手との協業や各種アワード受賞、関東・関西への拠点開設等の例もできており、次年度以降は大きく成長する企業も複数ある。				
3	①・②	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくり事業	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくり事業	H28 H30	農業を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくりにより、様々な交流を促進し、中山間地等の地域の活性化を図る。特に県外の意欲ある若者や移住・定住・就農を希望している学生や社会人等をターゲットに、佐賀県の農業を知って体験してもらうことをきっかけとして、佐賀県における就農者を育てる。(構成事業) ・さが農村ビジネス創出事業費【農政企画課】 ・さが農村ビジネスサポート事業費【農政企画課】 ・九州山口農商工連携6次産業化推進事業費【農政企画課】 ・地域で育てる新規就農者総合対策事業費【農産課】 ・佐賀段階「農」の担い手育成プログラム【農産課】 ・トレーニングファーム整備推進事業費【農産課】	3,148	60,446	64,989		KPI①	本事業に関連して確保した新規就農者数	人	124	299	474	654	834	1,014	0	+175	+175	+180	+180	+180	0	+0	+103	+161	+172	+166	-	+890	+710	②目標値の7割以上達成	③その他	生産資材価格の高止まりや豪雨災害等の頻発など、農業を取り巻く情勢は厳しく、1戸当たりの農業所得が伸び悩んでいる。	③地方創生に効果があつた	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
									KPI②	インターンシップ等に参加する首都圏学生等	人	0	5	20	35	50	65	0	+5	+15	+15	+15	+15	0	+11	+9	+7	+8	-	+65	+50	②目標値の7割以上達成	③その他	学生に対して佐賀県農業の魅力が十分に伝わらなかったためと推測される。				
									KPI③	KPI①のうち、佐賀県へ移住・就農する者	人	0	0	4	8	12	16	0	+0	+4	+4	+4	+4	0	+0	+14	+15	+14	-	+16	+12	①目標値を達成						
4	①・②	観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト	観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト【長崎県連携事業】	H28 H32	H28に日本遺産に認定された「日本の磁器のふるさと肥前～百花繚乱のやきもの散歩～」のストーリーや焼き物文化をはじめとする地域の豊かな地域資源を活用し、地域の主体的・継続的な取組に繋がるコンテンツや新たな目玉事業の構築を進め、広域的な周遊対策や地域の活性化を推進する。(構成事業) ・長崎県連携事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・日本遺産「肥前窯業園」登録推進・情報発信事業費(地方創生推進交付金)【文化課】 ・観光連盟補助(長崎県連携事業費)【観光課】	0	32,565	32,500	29,600	KPI①	延べ宿泊者数一人あたり観光消費額【長崎県】	千円/人	24	24	25	25	25	26	0	+0	+1	+0	+0	+1	25	+1	25	+0	+0	+0	-	+2	+1	①目標値を達成				
									KPI②	観光客の延べ宿泊者数【長崎県】	万人	813	889	917	945	975	1,004	0	+76	+28	+28	+30	+29	0	+18	+22	+19	+15	-	+191	+162	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化 ③外国人観光客の減	韓国観光客の減	②地方創生に相当程度効果があつた	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	
									KPI③	宿泊施設の従業員数(正社員数)【長崎県】	人	4,845	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000	0	+355	+200	+200	+200	+200	0	+314	+104	+87	+138	-	+1,155	+955	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少 全国的な好況による人手不足等				
5	①	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル人材戦略拠点事業(第1期) H28加速化交付金継続事業	H29 H33	プロフェッショナル人材戦略マネージャーを配置し、潜在的な成長力を持つ県内中小企業の経営者に対し「攻めの経営」への転換を促しつつ、民間人材ビジネス事業者と連携し、中小企業者と都市部のプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行う。(構成事業) ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業費(地方創生交付金)【産業企画課】	(37,018)	37,484	17,082	14,981	KPI①	プロフェッショナル人材のマッチング件数	件	15	(15)	25	35	45	0	加速化交付金 +10	+10	+10	+10	0	(16)	43	74	113	0	+30	+30	①目標値を達成							
									KPI②	プロフェッショナル人材拠点における相談件数	件	151	(150)	301	451	601	0	加速化交付金 +150	+150	+150	+150	0	(181)	321	473	594	0	+450	+450	②目標値の7割以上達成	③その他	県内企業からの相談も一減し、新規ニーズ開拓は鈍化しているため相談件数が目標に達しなかったが、成約率が上がってきている。	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)				
																			加速化交付金 +170	+152	+121																	

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

No	前掲事項 認定地域再生計画 の名称	交付対象事業名	事業 期間	事業概要	交付金額(千円)				名称	単位	当初値 (事業開始時)	重要業績評価指標(KPI)										達成度合い 事業開始から2019年度まで (事業開始からR元年度まで) (R2時点)	達成度合い 事業開始から2019年度まで (事業開始からR元年度まで) (R2時点)	地方創生への 効果 (自己評価)	今後の 事業展開	
					2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)				2016年度 (H28年度) (H29.3時点)	2017年度 (H29年度) (H30.3時点)	2018年度 (H30年度) (H31.3時点)	2019年度 (R元年度) (R2.3時点)	2020年度 (R2年度) (R3.3時点)	2021年度 (R3年度) (R4.3時点)	2022年度 (R4年度) (R5.3時点)	2023年度 (R5年度) (R6.3時点)	2024年度 (R6年度) (R7.3時点)	増分の累計					
					交付決定額	交付決定額	交付決定額 (当初)	交付決定額 (第2回まで)				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					目標値
					実績額	実績額	実績額	実績額				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値					実績値
6	② 観光交流県「さが」の実現に向けた環境整備等計画	観光交流県「さが」の実現に向けた環境整備等事業	H29 H31	地域ならではの魅力的な素材を活用した新たな観光資源の創出や、ターゲットを絞った情報発信、スポーツ合宿や映画・ロケの誘致に取り組むとともに、農林水産業、商工業など幅広い連携により、交流人口を拡大し、地域経済を継続的に発展させる。“交流県「さが」”を実現する。 (構成事業) ・観光資源創出事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・観光連盟補助(地方創生推進交付金)【観光課】〔SAGAMONOG ATARI-いだく県、佐賀〕 ・アート県庁事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・観光連盟補助(受入環境整備事業)【観光課】〔多言語メニュー〕 ・観光地域づくり推進費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・海外作品誘致新規開拓事業費(地方創生推進交付金)【文化課】 ・航空利用の喚起による交流促進事業費(地方創生推進交付金)【空港課】		人/年	2,801,000	2,829,000	2,857,000	2,885,000											④ 目標値の達成は5割未満	① 外的要因	① 自然災害等	人口減少や旅行参加の減少、宿泊施設の改修等による休館に加え、平成28年の熊本地震、平成29年の九州北部豪雨、平成30年の西日本豪雨などの自然災害等の影響も考えられる。	③ 地方創生に効果があった	⑤ 事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))
								2,588,020	2,361,090	2,442,490																
7	① さが藻類産業推進プロジェクト～広域連携バリューチェーン構築推進事業～	さが藻類産業推進プロジェクト～新資源開拓による地域産業イノベーション構築推進事業【佐賀市連携事業】	H29 H33	産官学等との連携により二酸化炭素超高压抽出技術を確立・事業化し、原料生産から原料化・商品化まで県内で対応できる体制を整備する。 原料化・商品化にあたっては、佐賀県(工業技術センター)・大学・JCCが支援し、唐津市が整備する地域産社やJCC等が販路開拓といった出口支援を担う。 (構成事業) ・原料抽出機能整備調査検討事業費(地方創生推進交付金)【ものづくり産業課・コスメティック構想推進室】		件	0	1	11	26	41	61									④ 目標値の達成は5割未満	② 計画不適切	既に商品開発している企業以外にも、新たに商品開発に取り組む企業が出てきてはいるが、新規参入に向けた研究開発の支援は行っていないもの、企業数減少が少なく、商品開発に取組始めた状況であることから、新たな雇用にはつなげていない。 また、原料研究についても藻類からの成分探索等は進んでいるものの、企業の製品化にすぐ結びつくことができていないものも少なく、その点については企業への参入へと至っていない。以上のような状況において、新規事業件数や商品開発件数が目標を下回っており、それに伴い新規就業数や製品出荷額についても目標を下回っている。	③ 地方創生に効果があった	① 事業の継続(計画通りに事業を継続する)	
								3	18	38	58	88														
8	② 明治維新150年を契機とした観光誘客(佐賀×オランダ)地域づくり計画	明治維新150年を契機とした観光誘客(佐賀×オランダ)地域づくり事業	H29 H31	肥前さが幕末維新博覧会の開催を含む明治維新150年記念事業や、鹿児島県・山口県・高知県と共に結成した「平成の薩長土肥連合」によるPR活動等を活用し、これまで薩長土肥の中で埋もれがちであった肥前＝佐賀県に光を当て、歴史観光を中心とした広域的な観光客の受け入れを促進する。 併せて、幕末維新期から近年でも深い繋がりのあるオランダと、新しいクリエイティブな連携・交流プロジェクトに取り組むことにより、2020年東京オリンピック・パラリンピックなど、未来に向けた交流の活性化に繋げていく。 (構成事業) ・国内誘客対策強化事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・オランダハウス事業費(地方創生推進交付金)【政策課・国際課】 ・観光連盟補助【観光課】〔薩長土肥協議会664千円、教育旅行対策887千円〕 ・維新博メモリアル展示整備事業費【肥前さが幕末維新事務局】		千人泊	2,973	3,012	3,052	3,093											④ 目標値の達成は5割未満	① 外的要因	① 自然災害等	目標値未達成の主な原因である日本人延べ宿泊者数の減少は、人口減少や旅行参加の減少、宿泊施設の改修等による休館に加え、平成28年の熊本地震、平成29年の九州北部豪雨、平成30年の西日本豪雨などの自然災害等の影響も考えられる。	② 地方創生に相当程度効果があった	⑤ 事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))
								2,973	2,752	2,685																
9	④ 自発の地域創生プロジェクト～さが「宝」の地域づくり～	自発の地域創生プロジェクト～さが「宝」の地域づくり～	H30 H32	自らの課題を自ら解決する地域とし、各地域固有の地域資源の魅力を生かした新しいチャレンジが生まれ実践される環境を作るため、自発の地域づくり支援、地域づくり活動の活性化、新たな地域づくりの取組の創出、地域のリーダーの育成等に取り組む。 (構成事業) ・自発の地域づくりさがブラッシュアップ事業費(推進交付金)【さが創生推進課】 ・地域活性化人材ネットワーク九州モデル構築事業費(推進交付金)【さが創生推進課】 ・さが地育(地域×子育て)推進事業費(推進交付金)【さが創生推進課】 ・SAGAROCアカデミー事業費【さが創生推進課】 ・それぞれの中山間チャレンジ事業費(地方創生推進交付金)【農政企画課】		地域	40	50	60	60											① 目標値を達成	③ その他	意欲的な目標値としていたが、意欲的な変容を測る指標の伸長について想定との齟齬が大きかった。	① 地方創生に非常に効果的であった	① 事業の継続(計画通りに事業を継続する)	
								49	61	-																
10	① ワーク・ライフ・バランス実現! 佐賀県「働き方改革」プロジェクト	ワーク・ライフ・バランス実現! 佐賀県「働き方改革」プロジェクト	H30 H32	長時間労働の是正により、誰もが働きやすい職場環境を実現し、女性の参画促進の重要性・必要性についての理解の促進と女性自身の意識・行動改革を図り、仕事と家庭・地域生活のバランスの取れたライフスタイルが実現できるように支援する。 (構成事業) ・ワーク・ライフ・バランス推進事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・仕事と子育ての両立支援推進事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・佐賀県子育て世代就業サポート事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・「働きたいけん」(体験)応援事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・マイナス1歳からのイクカジ推進事業費(地方創生推進交付金)【男女参画・女性の活躍推進課】		事業所	60	70	80	90											① 目標値を達成	① 地方創生に非常に効果的であった	① 事業の継続(計画通りに事業を継続する)			
								71	80	-																

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

No.	総合戦略分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額(千円)				重要業績評価指標(KPI)											達成度合い				地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開												
						2016年度(H28年度)	2017年度(H29年度)	2018年度(H30年度)	2019年度(R元年度)	名称	単位	当初値(事業開始時)	2016年度(H28年度)	2017年度(H29年度)	2018年度(H30年度)	2019年度(R元年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	2022年度(R4年度)	2023年度(R5年度)	2024年度(R6年度)	増分の累計	目標値(R元増分まで累計) 実績値(R元増分まで累計) の達成度合い	事業開始から2019年度まで(事業開始からR元年度まで) (R2時点)			(目標値未達の場合のみ)											
						交付決定額	交付決定額	交付決定額(当初)	交付決定額(第2回まで)				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値						目標値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容
						実績額	実績額	実績額	実績額				実績値(H28時点)	実績値(H29時点)	実績値(H30時点)	実績値(R元増分)	実績値(R2増分)	実績値(R3増分)	実績値(R4増分)	実績値(R5増分)	実績値(R6増分)						実績値(増分累計)	実績値(R元増分まで累計)	実績値未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容							
11	①	海外市場における「SAGAブランド」の輸出促進プロジェクト	海外市場における「SAGAブランド」の輸出促進プロジェクト事業	H30 H32	高品質の県産品の販路を海外に拡大していくため、県内の農林水産物の生産者や食品加工事業者の輸出の取組を支援する。海外市場における佐賀ブランドの確立、新たな国・地域への販路開拓、佐賀の酒のブランド確立に取り組む。 (構成事業) ・県産品販売支援事業費(地方創生推進交付金)【流通・通商課】	19,501	29,672	KPI①	日本酒の輸出量	リットル	124,550	130,000	135,000	140,000								15,450	10,450	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)									
								KPI②	牛肉の輸出量	トン	53.6	55.0	60.0	65.0											1.4	5.0	5.0			11.4	6.4	①目標値を達成						
								KPI③	加工食品の輸出業者数	社	26	27	30	33													1			3	3	7	4	①目標値を達成				
12	①	佐賀県産品におけるAI・IoT等の活用推進計画	佐賀県AI・IoT等活用推進事業	H30 H32	県内企業の継続的な発展を促していくため、国内外でAI・IoT等の活用をリードするトップ級の教師人材や県内の機関・団体と連携し、県内企業の経営者及び実務管理者の意識改革を図るとともに、AI・IoT等のテクノロジーを活用できる人材の育成及び新たなサービス等の創出に向けた支援に取り組む。 (構成事業) ・AI・IoT活用推進事業費(推進交付金)【産業企画課】 ・AI・IoT活用推進事業費(投資)【産業企画課】	27,214	34,092	KPI①	新規のAI・IoT等の導入又は実証事業創出件数	件	0	5	20	50								5	15	30	50	20	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)						
								KPI②	AI・IoT等の導入をけん引する企業内人材育成のための研修受講者の延数	人	0	80	180	300													80	100	120	300			180	①目標値を達成				
13	①	新しい時代を創るSAGA農林水産業イノベーションプロジェクト	新しい時代を創るSAGA農林水産業イノベーションプロジェクト	H31 H33	AIやIoT等の最新技術を活用して農林水産業の生産性を飛躍的に向上させる技術の検討・開発等を行うとともに、農林水産物やそれらを利用した加工品の開発等の農村ビジネスの取組を進める。また、農林水産業の魅力のPRや、県内各地域における就業体験等の実施を支援することなどにより、県内外から人々を呼び込み、新規就業者を確保・育成する。 (構成事業) ・さが園芸生産888億円推進事業費、同(特定政策推進費)【園芸課】 ・佐賀段階「米・麦・大豆競争力強化対策事業費」【農産課】 ・さが林業スマート化実証事業費【林業課】 ・サルボウ探苗器供給体制整備推進費【水産課】〔有明海再生サルボウ復活大作戦〕 ・磯根資源造成対策事業費【水産課】 ・さが農村イノベーション推進事業費、同(特定政策推進費)【農政企画課】 ・さが農村ビジネス整備支援事業費【農政企画課】 ・さが食・農・むらサポーター推進事業費【農政企画課】 ・トレーニングファーム整備推進事業費【農産課】 ・佐賀段階「農」担い手育成プログラム【農産課】 ・林業担い手育成確保対策事業費【林業課】 ・新規漁業就業者支援事業費【水産課】	100,000	100,000	KPI①	新たに農林水産業に就業した人数	人	190	400	610	820								210	210	210	630	210	②目標値の7割以上達成	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化	計画値の大部分を占める農業において、本事業の実施により新規就業者数は増加したものの、少子高齢化や好景気を背景に県内外の有効求人倍率が非常に高い水準になるなど、他産業との人材の争い合いが一層激化したことなどにより目標値に達しなかった。	③地方創生に効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)						
								KPI②	農村ビジネスの新たな取組件数	件	0	25	50	75													25	25	25	75			25	①目標値を達成				
14	①	SAGA県産品ブランド強化推進プロジェクト	SAGA県産品ブランド強化推進プロジェクト	H31 H33	JAさが、さが県産品流通デザイン公社など関係機関と連携して、2018年(平成30年)にデビューしたいちご新品種など県産品のブランド化を推進するため、県内および首都圏など都市部を中心とした県外へのプロモーションを実施する。 (構成事業) ・県産農産物新ブランド戦略推進事業費【流通・通商課】〔いちごさん〕 ・コネクTさが推進事業費【産業企画課】〔世界料理学会〕〔アジアベストレストラン50〕 ・県産品販売支援事業費(特定政策推進費)【流通・通商課】〔BAR saga〕 ・情報発信プロジェクト推進費【広報広聴課】〔サガプライズ!〕	92,637	92,637	KPI①	東京都中央卸売市場におけるいちご主要産地(福岡県)の平均単価との対比	%	86	88	92	97									2	4	5	11	2	①目標値を達成				③地方創生に効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)					
								KPI②	支援事業で対象とした商品のターゲット(国内シェフ)との新たな取引件数(新規顧客契約件数)	件	0	20	27	42													20	7	15	42	20			③目標値の5割以上達成	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりシェフ等とのマッチングの機会としていたイベント等が中止になったため	
								KPI③	県内酒蔵の純米酒課税移出数量	キロリットル	1,577	1,647	1,717	1,787													70	70	70	210	70			④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	県内酒蔵の廃業に伴う移出事業所数の減	
								KPI④	輸出に適した商品とアジアベストレストラン50に参加したターゲット(海外シェフ)との新たな取引件数(新規顧客契約件数)	件	0	30	40	50														30	10	10	50			30	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりシェフ等とのマッチングの機会としていたイベント等が中止になったため

地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

no	総合 種別	認定地域再生計画 の名称	計画 期間	拠点整備交付金 交付対象事業名	事業 期間	事業概要	H28～H29 交付金額 (千円)			H29～H30 交付金額 (千円)			H30～H31 交付金額 (千円)			重要業績評価指標(KPI)														達成度合い				地方創生への 効果 (自己評価)	今後の 事業展開
							交付決定額	交付決定額	交付決定額	名称	単位	当初値 (申請時)	2016年度 (H28年度) (R2.3時点)	2017年度 (H29年度) (R3.3時点)	2018年度 (H30年度) (R4.3時点)	2019年度 (R元年度) (R2.3時点)	2020年度 (R2年度) (R3.3時点)	2021年度 (R3年度) (R4.3時点)	2022年度 (R4年度) (R5.3時点)	2023年度 (R5年度) (R6.3時点)	増分の累計	事業開始から2019年度まで (事業開始からR元年度まで) (R2.3時点)			実績値(R元増分まで累計) の達成度合い	(目標値未達の場合のみ)									
							実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	実績値(R元増分まで累計)	実績値(R元増分まで累計)		実績値(R元増分まで累計)	実績値(R元増分まで累計)	実績値(R元増分まで累計)	実績値(R元増分まで累計)	実績値(R元増分まで累計)					
							実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)	実績値(H28増分)			
12	①	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」生産性革命プロジェクト	H30 H34	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」生産性向上技術研究拠点整備事業	H30 H31	「佐賀牛」の生産基盤の強化を図るため、ICT・IoTツールを活用した誰にでも簡易にできる省力的な飼養管理技術等を新たに開発するための研究拠点となる施設を整備する。また、開発した技術を農業改良普及員や農業団体の技術員を通して生産現場に普及させることにより、肥育牛飼養農家が繁殖部門を導入して自ら肥育牛を生産する繁殖肥育一貫経営の取組を進め、肥育牛の安定確保による経営改善や牛のストレス軽減による肉質向上などを図り、農業所得の向上や地域における雇用の増大を実現させ、地域活性化につなげる。	223,901	223,901	223,901	KPI① 佐賀牛の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+ 11.60	+ 2.60	①目標値を達成					-	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)									
							223,901	223,901	223,901	KPI② 飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	+ 20.00	+ 0.00	①目標値を達成														
										KPI③ 肥育牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24	27.96	28.68	+ 2.88	+ 0.72	①目標値を達成															
13		イチゴの飛躍的生産性向上による活力ある佐賀の再興プロジェクト	H31 H35	地域に所得を生み出すイチゴの生産性向上技術の確立とその技術の普及させる人材育成のための研究・研修施設整備事業	H30 H31	炭素の安定同位体(13C)を用いて、イチゴの植物体内における光合成産物の転流・分配の状況を解析することにより、光合成産物を効率的に果実に転流させる環境を整える生産性向上技術を開発することとし、そのために必要となる13C分析室と実証ハウスを整備する。また、産業廃棄物として処理することが必要となるハウス等から発生するイチゴ等の野菜の残さを堆肥化する処理施設も併せて整備し、環境負荷の軽減を図る。さらに、開発された生産性向上技術を普及員やJAの指導員を通じて、あるいは生産者に直接普及させるため、各種研修会やセミナー等を実施する研修施設を整備する。			64,399	KPI① 県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	+ 32.5	+ 0.0	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)										
地方創生拠点整備交付金 計							632,543	315,851	64,399																										
							587,917	305,830	61,071																										

【事業効果(自己評価)】		
①地方創生に非常に効果的であった	例) 全てのKPIの目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	3
②地方創生に相当程度効果があった	例) 一部のKPIの目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	6
③地方創生に効果があった	例) KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	3
④地方創生に対して効果がなかった	例) KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い場合	0

【今後の事業展開】	
①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	12
②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	1
③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う)	0
④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する)	0
⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する)	0